



2021年5月12日

各位

会社名 GMO フィナンシャルゲート株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉山 憲太郎
 (コード番号 4051 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 管理本部長 池澤 正光
 (TEL 03-6416-3881)

2021年9月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値との差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2020年11月11日に公表いたしました2021年9月期第2四半期連結累計期間(2020年10月1日~2021年3月31日)の連結業績予想と本日公表いたしました実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年11月11日に公表いたしました2021年9月期(2020年10月1日~2021年9月30日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異

2021年9月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値との差異
 (2020年10月1日~2021年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,367	284	283	178	44.94
実績値 (B)	2,816	318	319	211	53.17
増減額 (B - A)	449	34	36	33	
増減率 (%)	19.0	12.3	12.9	18.9	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年9月期第2四半期 連結累計期間)	2,050	345	335	197	54.97

差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、決済端末の販売が順調に推移したことによるイニシャル売上の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言発出・蔓延防止等重点措置下においては、主に小規模飲食業を中心とした加盟店での消費低下が認められたものの、多業種における加盟店開拓を継続的に進めたことで、稼働端末数及び決済処理件数・金額が伸長し、ストック型売上も安定的に増加いたしました。その結果、売上高が当初予想を449百万円と19.0%上回ったほか、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益についても上記のとおり結果となりました。

2. 業績予想の修正

2021年9月期通期連結業績予想の修正

(2020年10月1日～2021年9月30日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,800	589	587	368	92.76
今回修正予想 (B)	5,249	589	587	368	91.27
増減額 (B-A)	449	—	—	—	
増減率 (%)	9.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年9月期連結実績)	3,691	452	428	291	79.84

修正の理由

当第2四半期連結累計期間での業績の実績値を踏まえ、通期の売上高が当初予想を上回る見込みである為、修正することといたしました。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う各種措置等が依然として続いており、その影響を見極める必要があることから、2021年9月期の下半期における連結予想売上高は、2020年11月11日に発表した予想を据え置いたものとしております。その結果、通期連結予想売上高は、当初予想の4,800百万円に2021年9月期第2四半期累計期間における計画超過分の449百万円を加えた5,249百万円といたしました。

一方、通期連結予想利益については、当初予想を据え置いております。これは、新型コロナウイルスの感染症の再拡大に伴う蔓延防止等重点措置や緊急事態宣言の再々発出がとられている現状、更には変異種による感染者数増に伴う更なる措置等の拡大の可能性を踏まえて、当社グループ業績に対する影響を慎重に検討した結果、特にイニシャル売上よりも相対的に利益率の高いストック型売上が影響を受ける可能性がある点を考慮したものです。

なお、仮にコロナ禍の影響が限定的なものに留まることで、予想を超える利益を計上する場合は、コロナ禍対応等のリスクへ備えた各種対策費、人財に対する業績を反映した賞与による成果還元、将来成長や管理態勢の強化に向けた採用費の支出等の実施を予定しております。

※上記に記載した業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上